

# トゲソの会活動ニュース5号

1月～2月

2012年3月

NPO法人  
五泉トゲソの会

## 1、国土交通省が阿賀野川水系のトゲソの生息を調査（12月8日）



▲新江川での調査の様子

国土交通省の新津河川事務所では、自然再生計画を検討するため阿賀野川水系で絶滅危惧種トゲソの調査を始めました。トゲソの会では、過去のデータ提供や調査の立ち合いに協力しました。

過去のデータでは、淡水型トミヨと陸封型トミヨ（イバラトミヨ）が阿賀野川水系でも生息していたことが分かっています。

今回の調査は文献を元に阿賀野川の古川やワンドを中心に調べました。また五泉市では新江川と早出川の合流点など2箇所を調べました。時期的には親魚がいなくなる季節でしたが、新江川上流でトゲソの生息が確認されました。

現在、国土交通省では荒川で「環境整備事業」を実施して、湧水の湧くワンド（たんぼ）の再生や絶滅危惧種トミヨの生息環境を保全する事業を実施しています。阿賀野川水系早出川でもトゲソの棲める環境が一日も早く確保されることを望みたいものです。

## 2、FM新津でトゲソの危機について放送（1月1日）

昨年の暮れ、12月末にFM新津で「トゲソの生息危機」についてインタビューされました。この番組は「ガイヤ通信」という番組で、長年地域の環境に関する出来事を伝えています。

番組のコーディネーター和田さんから生息数が1桁となった原因、対策などを聞かれました。また、持続可能な生育環境を保全していくためにはどうしたらよいのか、考えを聞かれました。

辛い維持管理も「楽しく、遊び感覚で泥あげなどの参加してもらえるよう工夫したい」と話をさせていただきました。会員の皆さんは、泥上げ後「焼き芋」会などをしますので参加していただきたいと思います。ちなみに、写真で被っているのはラジオなので見えませんが南少学校の児童からもらった「トゲちゃん」のお面です。トゲソが増えてくれることを願って、収録を終えました。

この放送は、新年の1月1日に放送されました。



▲FM新津のスタジオで録音・放送の収録

### 3、県と市のフードブランド加工品グループでモニター調査（1月18日）

現在、トゲソの会では新潟県新潟振興事務所と五泉市の支援で、五泉市フードブランド推進戦略事業のメンバーとして参加をしています。

今年は9月から昨年を引き続いて推進会議が開催されました。現在加工品グループでは、「エスマートすずきや」さんを初めとして、「近藤酒造(株)」「かあちゃん本舗」の3業者さんと「五泉の食卓チーム」としてグループ検討を進めています。

テーマは、五泉の素晴らしい素材を使って、どんな加工品ができるか、又どういうコンセプトで開発していくのか、について議論をしてきました。

候補としては「芋味噌」などのスローフードの味を提供できないかと開発や製品化について話合ってきました。

結果、「のっぺ」「ニシンの麴づけ」「芋味噌」「ゼンマイ煮」「ねぎ味噌」など5品を「五泉の食卓」加工品候補として選びました。

このたび、1月18日、19日に五泉市と新潟市で主婦を対象に試食と感想を聞きました。 ▲「五泉の食卓」の加工品候補

モニター試食では、味の評価、見た目の評価、市場価格などについて意見を聞きました。五泉市と新潟市では感想や評価が違うなど参考となりました。

また、当日はもう一つのグループである「アロニアチーム」のジャムなどについて市場モニター調査が同時に行われました。



### 4、「新しい公共」事業の提案審査へ出席（1月23日）



▲自治会館でプレゼン審査に臨む

1月末に新潟県が募集していた24年度「新しい公共」事業の2次審査のプレゼンテーションが自治会館で開かれました。

結果は残念ながら「不採択」でした。

当日は高橋理事長とトゲソの帽子を被って「五泉市観光ガイドボランティア“花めぐりお迎え隊”」について説明しました。

この新しい公共事業は、県の事業(国の基金が交付)で23年度と24年度の2ヶ年で実施されるものです。そして、公募という形で募集されました。多様な担い手として、行政、企業、NPO等の5団体以上が協議会等を作り《協働》して

事業を実施するものです。

トゲソの会では五泉市と商工会議所などの協力を得て花シリーズに向けた「ガイドボランティアの育成」について、6団体で取り組むことを提案しました。五泉市ではNPO法人が自ら市の課題について提案し、事業に手を上げることは初めてでした。

これからは、このようにNPOが公共事業を提案し実施することが多くなってくると考えられます。昨年の東日本大震災以降は、行政だけでなくNPO法人が地域復興の切り札となるからです。審査は当会を含めて9団体が2次プレゼン審査に臨みました。全体応募は15団体で5団体が採択されました。結果は落選となりましたが、将来市との協働を考える上で良い機会となりました。

## 5、新潟清陵大学でトゲソのパネルを展示（1月29日）

雪の中、新潟NPO協会主催の「地域の教育力」フォーラムが新潟清陵大学で開かれました。これは県内4箇所で行われてきた新潟NPO協会が活動してきた「地域活動体験コーディネーター設置事業」（新潟県事業）が最終年を迎え、総括集会として開かれたものです。

基調講演は文部科学省生涯学習局長の長田徹さんが、学校と地域の絆を深めるためにどうしたら良いかを話されました。長田さんは仙台市の中学教諭、派遣主事をしており被災現場をめぐり、絆の大切さを実感してきました。その後パネルディスカッションがあり、当会はNPO活動紹介ブースに参加しました。

展示では南小学校から借りた「トゲソの双六」「トゲソ新聞」「トゲソの巻物」など、ユニークな総合学習作品を貼りだしました。併せて、当会が販売している「湧水の恵み」セットなども展示させていただきました。



▲ 当会のパネル展示



▲ パネルディスカッションの様子

## 6、イオン新発田店黄色いレシートキャンペーンで宣伝活動（2月11日）



トゲソの会では、イオン新発田店で団体登録をしており、黄色いレシートキャンペーンに参加してきました。2月の土曜日、新発田店に3人で寄付ボックスへ投函を呼びかけました。

併せて、私達の活動についてパネルで知らせました。奇遇にも川東小学校の4年生児童のご家族が買い物に来ており、さっそくレシートを投函いただきました。今後とも皆さんの応援をお願いします。

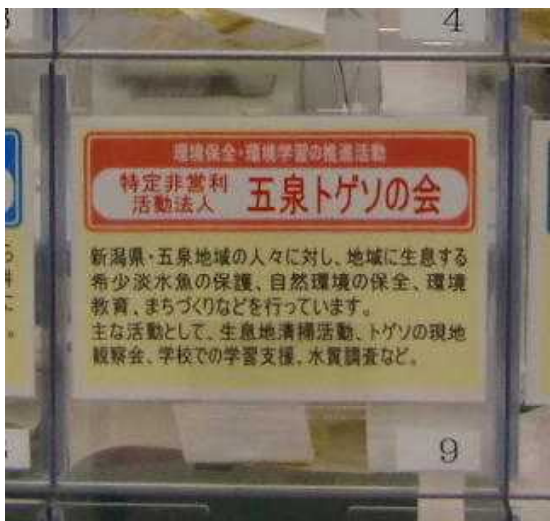
### 【仕組み】

※ イオンは黄色いレシートキャンペーンを月1回、11日の付く日に行っています。当日は団体登録した会のボックスが店内に設置され、トゲソの会でもイオン新発田店に登録しています。

イオンでは11日に発行される買い物の黄色いレシートを左のボックスに入れてもらうと、投票金額の1%の金額を会へ「寄付（イオンの商品券）」します。

だいたい年に1万円程度の寄付をイオンさんからいただいています。

ご支援ありがとうございます。



▲ 宣伝する理事長と投函ボックス

【お知らせ】

平成24年度の活動計画予定について

(2012年4月1日～2013年3月末日予定)

日 時	場 所	行 事 内 容
4月 1日(日)	土堀生息地	春の生息地泥上げと清掃 ※3/25の予定を変更
4月14日(土) 4月29日(日)	坂田家 坂田家・公民館	「お膳の蔵出しと山菜を味わうスタディツアー」東京より 第16回トゲソの観察会と生息シンポジウム
5月12日(土) 5月27日(日)	猿和田地区 図書館	第5回 とげそ米の田植え 第6期 トゲソの会総会・勉強会
6月 3日(日) 6月～7月 6月～8月	早出川水系 各学校他 土堀生息地	全国一斉水環境調査に参加(8回目) 市内小学校での総合学習の支援 生息地の環境改善・種川づくり等の検討
7月15日(日)	猿和田地区	猿和田地区水路草刈・江浚い
8月 5日(日)	太川橋下	新「夏の清流スクール(カヌーコース、魚捕コース)」※30人対象
9月22日(土) 9月～10月	猿和田地区 土堀生息地他	第5回 とげそ米の稲刈り 市内小学校での総合学習の支援
10月上旬 10月20日(土) 10月28日(日)	事業活動 土堀生息地 猿和田地区	「湧水の恵みセット」造り開始 第12回トゲソの生息数調査 土堀地 サトイモ掘りツアーと収穫祭(東京より)
11月中旬	坂田家	(仮)おいしいサトイモを食べる会
◎年間－5回の「トゲソニュース」(5月、7月、9月、11月、3月末を予定)発行		

【昨年度の活動写真】 ※日程は予定です。参加については、必ず事務局へご確認ください。



「地域ブランド商品」もホームページでご覧いただけます。

- 特定非営利活動法人 五泉トゲソの会 理事長 高橋荘三  
事務所 住所 959-1632 五泉市中川新2306-6  
電話 0250-47-4439 ・ FAX 0250-47-4440 メール gosen@togeso.com
- 事務局 住所 956-0862 新潟市秋葉区新町2丁目8-10-1中村吉則方  
電話・FAX 0250-22-0271 メール : togeso@beige.plala.or.jp
- ホームページ <http://www.geocities.jp/gosentogeso/index.htm>